

2022年度【大阪】

登録ALC基幹技能者講習 修了試験 問題

1. 試験時間：60分
2. 問題数：25問（四者択一式：「最も不適當」なものを選ぶ）
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名を、解答用紙の所定の欄に正しく記入してください。記入がない場合や正しくない場合は、不合格となることがあります。
 - (3) 本冊子のページ数（問題記載ページ：1～8ページ）と試験問題数（25問）を確認してください。落丁、乱丁、印刷不鮮明な箇所などがあつた場合には、黙って手を挙げてください。
 - (3) 机の上に置くことができるものは、「受講票」、「黒の鉛筆またはシャープペンシル」、「消しゴム」、「時計（携帯電話など、他の機能がないもの）」、「色鉛筆・マーカー等の印を付けるための筆記用具」です。
 - (4) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用できません。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ① 正解（最も不適當なもの）と考えるものを選択肢1～4の中から1つだけ選び、黒の鉛筆またはシャープペンシルで、解答用紙の回答欄に、その番号を記入してください。
 - ② 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消した後、新しい番号を記入してください。
 - (6) 試験中、質問等があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には、お答えできません。
 - (7) 試験開始30分以降は、退室することができます。その際は、黙って手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。
 - (8) 試験終了の合図があつたら、筆記用具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
 - (9) この問題冊子は、持ち帰ることができます。なお、全会場の問題は、2022年度の全ての講習が終了した後に、正解と共にALC協会のウェブサイトで一定期間公開します。
 - (10) 試験開始の合図で始めます。

一般社団法人 ALC協会

問題1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 登録基幹技能者は、熟達した作業能力がある。
- 2 登録基幹技能者は、豊富な知識を有している。
- 3 登録基幹技能者は、現場の技能者を分散させることができる。
- 4 登録基幹技能者は、マネジメント能力を備えている。

問題2 建設技能者の職業能力基準やキャリアパスに関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 レベル1は、見習い技能者である。
- 2 レベル2は、一人前の技能者である。
- 3 レベル3は、現場監督として従事できる技能者である。
- 4 レベル4は、高度なマネジメント能力を有する技能者である。

問題3 登録基幹技能者制度の活用における公共工事の総合評価項目に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 社会性
- 2 企業の施工能力
- 3 担当技術者のアイデア
- 4 企業の技術力

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 調整力
- 2 忍耐力
- 3 開発力
- 4 企画力

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 リーダーとなることができる。
- 2 約束を守る。
- 3 健康である。
- 4 スキンシップができる。

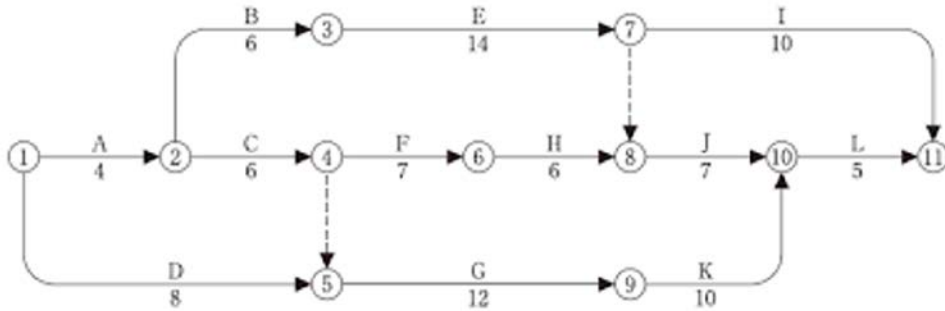
問題6 登録基幹技能者としての倫理・法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 倫理は、全ての動物の道である。
- 2 倫理は、行為の善悪の基準である。
- 3 倫理は、正邪の判断の基準である。
- 4 倫理は、普遍的な基準である。

問題7 レベルに応じた技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 OJT は、仕事そのものである認識を持つ。
- 2 OJT は、忍耐と強制力が必要である。
- 3 OJT は、適性に合わせた指導育成が必要である。
- 4 OJT は、部下のペースに合わせる必要がある。

問題8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



- 1 この工程表のクリティカルパスは、A→C→G→K→Lである。
- 2 この工程表の工期は、37日である。
- 3 作業Dのトータルフロート（余裕日数）は、0日である。
- 4 作業Fの最早開始時刻（EST）は、10日である。

問題9 わが国の建設業における労働災害の現状に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 昭和49年（1974年）の建設業の労働災害における死傷者数は、200,888人である。
- 2 平成6年（1994年）の建設業の労働災害における死傷者数は、49,788人である。
- 3 平成16年（2004年）の建設業の労働災害における死傷者数は、23,809人である。
- 4 平成26年（2014年）の建設業の労働災害における死傷者数は、17,184人である。

問題10 施工管理の概要に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工計画は、工事施工にあたり、請負契約書及び設計図書や現場条件等を検討し、どのように目的物を完成させるかについて示すものである。
- 2 安全管理は、第三者や作業員の安全を確保するために行うものである。
- 3 環境管理は、工事による騒音や振動、水質汚濁など環境に与える影響を最小限にするものである。
- 4 品質管理は、請負契約と施工計画から材料費、労務費、現場経費などの工事に関わる原価を算出し、実行予算通りに実施できるようにするものである。

問題 11 施工要領書に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 施工要領書は、工事開始前に予想されるさまざまな施工上の問題を、工事の進捗につれてどのように対処すべきかを事前に検討するものである。
- 2 施工要領書は、設計図書に明示されていないもの、もしくは各種の事情により明示しにくいものについて、現場条件を考慮して検討し、明示する。
- 3 施工要領書は、特に品質の維持向上に重点を置くので、経済性については触れない。
- 4 施工要領書は、現場環境、設備内容、工程等のさまざまな条件を考慮し、適切な施工方法を選定する。

問題 12 会社経営と工事現場の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 請負契約時に、ある程度精度のある見積原価を算出して、利益予測を行う。
- 2 見積原価の管理段階では、請負条件を明確にするが、質疑を行うことはできない。
- 3 契約後現場条件に合わせた施工計画を詳細に検討し、実行予算を作成する。
- 4 実行予算を枠組みとして発注し、資機材や労務を管理して、予算内に納める。

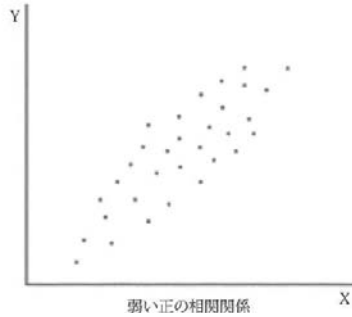
問題 13 専門工事業者の原価管理に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 見積りの作成では、現場条件、施工範囲等を検討し、条件に合わせた見積りをすることが大切である。
- 2 見積書の経費では、直接工事費だけでなく、社会保険料等の企業負担分をはじめとした会社経費も確実に確保しなければならない。
- 3 工事現場では、見積内容を理解しておき、契約内と契約外をきちんと仕分けることが現場の原価管理では重要となる。
- 4 技能労働者の処遇改善は重要であるが、社会保険の未加入については各専門工事業者の問題である。

問題 14 設計品質と施工品質に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 品質には設計段階で定める設計品質（ねらいの品質）と、施工段階で実現する施工品質（出来ばえの品質）がある。
- 2 発注者を始めとして、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。
- 3 設計品質の内容と決め方には、「仕様規定」と「性能規定」がある。
- 4 「仕様規定」は、求める品質がより具体的に表現され、その成否の判断も明快であり、また、施工に関わる技術革新や経済・社会の変化への柔軟な対応が容易である。

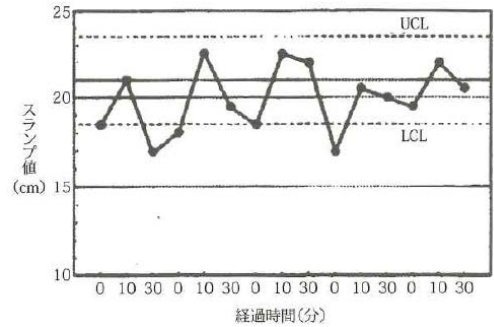
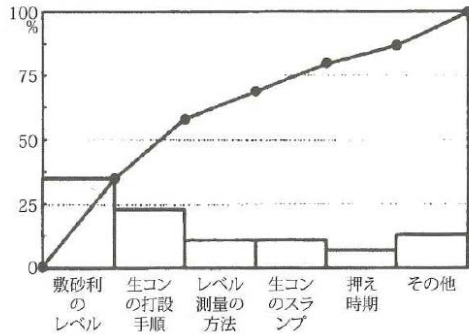
問題 15 Q C 7 つ道具の図と名称の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。



杭の偏心量	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
> 150	レ										
150 ~ 100	レ										
100 ~ 50	レ	レ	レ								
50 ~ 0	レ	レ	レ	レ							
0	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ
0 ~ -50	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ			
-50 ~ -100	レ	レ	レ	レ							
-100 ~ -150	レ										
< -150	レ	レ									

1. 散布図

2. チェックシート



3. ヒストグラム

4. 管理図

問題 16 墜落制止用器具に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 これまで建設業等の高所作業において使用される胴ベルト型安全帯は、墜落時に内臓の損傷や胸部等の圧迫による危険性が指摘されている。
- 2 厚生労働省では、安全帯の名称を「墜落制止用器具」に改め、その名称・範囲と性能要件などを見直している。
- 3 墜落制止用器具はフルハーネス型安全帯を使用する方がよいが、これまでの胴ベルト型（U字つり）を使用してもよい。
- 4 高さ2 m以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいては、墜落制止用器具のうちフルハーネス型安全帯を用いて行う作業では、「安全衛生特別教育」を受けなければならない。

問題 17 建設業法における建設業の許可に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 建設業許可の有効期限は許可を受けてから3年間、以降3年ごとの更新が必要である。
- 2 建設業の許可を受けるためには、経營業務管理責任者、専任技術者、誠実性、財産的基礎の4つの要件を備えていることが必要である。
- 3 特定建設業許可の場合は監理技術者相当、一般建設業許可の場合は主任技術者相当の技術者を配置する。
- 4 公共性のある施設に関する建設工事を発注者から直接請け負おうとする建設業社は、経営に関する客観的事項については審査を受けなければならない。

問題 18 現在、標準化されているALCパネルの取付け構法に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 縦壁ロッキング構法
- 2 横壁カバープレート構法
- 3 縦壁フットプレート構法
- 4 敷設筋（ふせつきん）構法

問題 19 ALCパネルの耐荷重性能に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 ALCパネルの強度は設計荷重に対して安全となるよう配筋設計されている。
- 2 外壁用ALCパネルは風荷重に対して安全であるように設計されている。
- 3 床用ALCパネルは鉛直下向きに作用する荷重に対して安全であるように設計されている。
- 4 屋根用ALCパネルに作用する風荷重は、一般的に負圧として鉛直下向きである。

問題 20 横壁アンカー構法で使用する金物に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 自重受け金物
- 2 イナズマプレートR
- 3 ボルト
- 4 メジプレート

問題 21 ALC パネル工事に使用する材料に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 補修用セメントモルタルは、ALC との付着が良く、かつ施工性の良いものでパネル製造業者の指定するものを用いる。
- 2 ALC パネルを補修する際、補修下地となる ALC 面はシーラーにより処理する。
- 3 ALC パネル間の目地部に用いるシーリング材は、JIS A 5758(建築用シーリング材)に規定されるシーリング材を用いる。
- 4 充填セメントモルタルの調合は容積比で、セメント：砂＝1：5を標準とする。

問題 22 外壁用 ALC パネルの下地計画に関して、最も不適当なものはどれか。

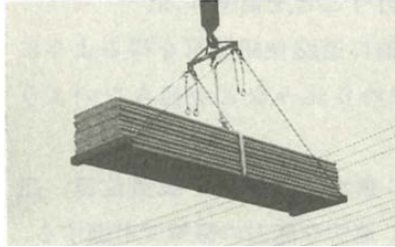
- 1 縦壁ロッキング構法の標準的な納まりにおいては、定規アングルに L-65×65×6 を用いる。
- 2 定規アングルの梁へのかかり代の下限值は、おおむね定規アングルの幅の 1/3 程度を目安とする。
- 3 横壁アンカー構法の標準的な納まりにおいては、定規アングルに L-50×50×6 を用いる。
- 4 梁と ALC パネルのクリアランスが大きい場合、あらかじめ工場溶接などにより梁に持出し鋼材を取り付ける。

問題 23 鉄筋コンクリート造の建物に ALC パネルを使用する場合、通常先行する工事に関して、最も不適当なものはどれか。

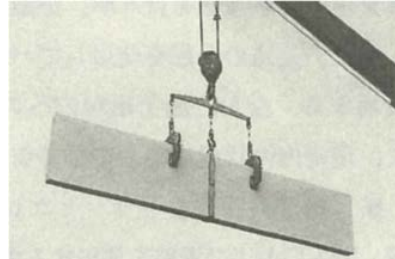
- 1 基礎および土工事
- 2 排水工事
- 3 足場等仮設
- 4 コンクリート工事

問題 24 ALC パネルの揚重・運搬・仮置きを行う道具に関して、名前と写真の組み合わせとして最も不適当なものはどれか。

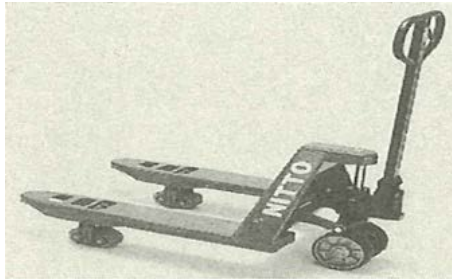
1. 三角スリング



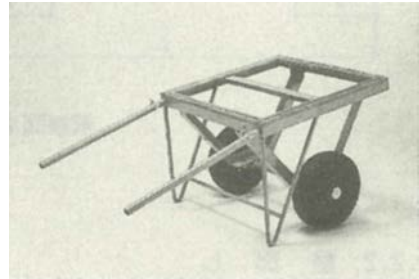
2. ナイロンベルトスリング



3. ハンドパレットトラック



4. 二輪運搬車



問題 25 ALC パネル工事着手前に行う下地の確認に関して、最も不適当なものはどれか。

- 1 埋込アンカーのピッチが許容差をこえて離れていたため、あと施工アンカーで対処した。
- 2 立ち上がりコンクリートが基準レベルから許容差以上の高さとなっていたため、ALC パネルの長さを切断することで対処した。
- 3 立ち上がりコンクリートの通りが許容差を超えていたので、専門工事業者として施工者に手直しを依頼した。
- 4 外壁用 ALC パネルとコンクリートスラブの止め位置までの距離が小さかったので、専門工事業者として施工者にコンクリートのはつりを相談した。